

障害者を積極雇用

中津川市 青山製作所を表彰

「第8回中津川市障がい者雇用促進セミナー」(市障害者雇用促進協議会主催)が19日



青山節児市長から賞状と認定証を受ける三戸一徳工場長(中)＝中津川市かやの木町、市健康福祉会館

同市かやの木町の市健康福祉会館で開かれた。東濃ヒノキ製の認定証を交付した。

セミナーには、市内の企業や福祉関係者ら約70人が出席。障害者の雇用に積極的に取り組む事業所として、青山製作所(愛知県大口町)の製造本部恵那工場(同市蛭川)を表彰し、青山節児市長が三戸一徳工場長に賞状と認定証を交付した。

同社の障害者雇用率は4・8%で、振り仮名や図を多様した作業手順書や、扱いやすい器機の導入など、障害者が働きやすい環境を整えている。

また、県障がい者雇用企業センターの障がい者雇用アドバイザー梅村克利さん(バローホールディングス総務人事部)が、「障がい者雇用の現状と課題」と題して講演。具体的な事例を交えながらバローの取り組みを紹介し、「一人一人の障害に合わせた指示や説明が必要」などと語った。(有我友香理)